



建設現場で使われている測量機を見学する生徒
＝つるぎ高

地図作製や測量 最新技術を学ぶ

国土地理院が授業

つるぎ高生

つるぎ高校（つるぎ町）で28日、国土地理院の職員らによる授業があり、建設科土木コースの3年生13人が地図作製や測量の最新技

術を学んだ。「測量の日」（6月3日）にちなんだ行事の一環。

国土地理院四国地方測量部（高松市）地理空間情報管理官の大坂和博さん（50）が、同院がホームページで公開している電子地図を使った作図の仕方を説明した。衛星を使った測量機や高精度の車載測量システム、レーザーで地形や建物を測るスキャナーなどの最新機器も用意され、生徒は県測量設計業協会青年

部員の説明を受けながら見学した。

井上知之さん（17）は「学校にはない測量機を見られて勉強になった。最新の技術をもっと学んで、将来の就職に生かしたい」と話した。（岡島久夫）